

記入例

農地法第3条の規定による許可申請書

捨印

捨印

平成〇〇年〇〇月〇〇日

加美町農業委員会 会長 殿

<譲渡人>

氏名 加美 一郎

印

<譲受人>

氏名 加美 太郎

印

下記農地（採草放牧地）について、**所有権**・賃借権・使用貸借による・その他使用収益権（**移転**）を（**移転**）権利設定（期間 年間）したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。
(該当する内容に○を付してください。)

記

1 申請者の氏名等

申請者	氏名	年齢	職業	住所
譲渡人	加美 一郎	70	無職	加美町△△字〇〇99番地9 電話 0229-〇〇-△△△△
譲受人	加美 太郎	45	農家	加美町字〇〇1番地1 電話 0229-□□-××××

2 許可を受けようとする土地の所在等（土地の登記事項証明書を添付してください。）」

所在・地番	地目		面積 (㎡)	対価、賃料等の額 (円) [10a 当たりの額]	所有者の氏名又は名称 [現所有者が登記簿と異なる場合]	所有権以外の使用収益権が設定されている場合	
	登記簿	現況				権利の種類	権利者の氏名又は名称
〇〇字△△ 100-1	田	田	1,000				
筆数 1 筆	(田 1,000 ㎡ 畑 ㎡ 採草放牧地 ㎡)		計 1,000 ㎡				

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

① 権利の設定又は移転しようとする種別	贈与
② 権利の設定又は移転しようとする事由	(渡) 後継者への贈与 (受) 左記により受ける
③ 権利の設定又は移転しようとする時期	許可日
④ 土地の引渡しを受けようとする時期	許可日
⑤ 契約期間 (賃貸借期間)	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 まで
⑥ 権利の設定又は移転の対価	10a 当たり対価 円 総額対価 円
⑦ その他	

(記載要領)

- 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署する場合には、押印を省略することができます。
- 法人である場合は、住所たる主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄付行為の写しを添付（独立行政法人及び地方公共団体を除く。）してください。
- 競売、民事調停等による単独行為での権利の設定又は移転である場合は、当該競売、民事調停等を証する書面を添付してください。
- 記の3は、権利を設定又は移転しようとする時期、土地の引渡しを受けようとする時期、契約期間等を記載してください。また、水田裏作の目的に供するための権利を設定しようとする場合は、水田裏作として耕作する期間の始期及び終期並びに当該水田の表作及び裏作の作付に係る事業の概要を併せて記載してください。

農地法第3条の規定による許可申請書（別添）

捨印

捨印

I 一般申請記載事項

<農地法第3条第2項第1号関係>

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

	農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
所有地	21,000	20,000	1,000		
貸付地					
	所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
		登記簿	現況		
非耕作地					

	農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
所有地以外の土地					
借入地					
貸付地					
	所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
		登記簿	現況		
非耕作地					

(記載要領)

- 「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第6号の括弧書きに該当する土地です。
- 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。



1 - 2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付（予定）作物，作物別の作付面積

	田	畑			樹園地	採草放牧地
作付（予定）作物	水稻	野菜				
権利取得後の面積（㎡）	21,000	1,000				

(2) 大農機具又は家畜

数量	種類	トラクター	田植機	コンバイン	貨物トラック
		確保しているもの	1	1	1
導入予定のもの					
〔資金繰りについて〕					

(記載要領)

- 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植え機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。
- 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ（融資を受けられることが確実なものに限る。）等資金繰りについても記載してください。

(3) 農作業に従事する者

① 権利を取得しようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況 農作業歴 20 年，農業技術修学歴 年，その他（ ）	
② 世帯員等その他常時雇用している労働力（人）	現在： 3（農作業経験の状況：世帯内労働） 増員予定：（農作業経験の状況：）
③ 臨時雇用労働者（年間延人数）	現在：（農作業経験の状況：） 増員予定：（農作業経験の状況：）
④ ①～③の者の住所地，拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地まで 平均距離又は時間 平均距離 2.0 km 時間 時間 10 分	

<農地法第3条第2項第2号関係>（権利を取得しようとする者が農業生産法人である場合のみ記載してください。）

2 その法人の構成員等の状況（該当する場合のみ記載し，添付してください。）

<農地法第3条第2項第3号関係>

3 信託契約の内容（信託の引受けにより権利が取得される場合のみ別紙に記載し，添付してください。）

<農地法第3条第2項第4号関係>（権利を取得しようとする者が個人である場合のみ記載してください。）

4 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況

（「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。）

(1) その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業へ常時従事している者の氏名及び性別	(2) 年齢	(3) 主たる職業	(4) 権利取得者との関係	(5) その者の農作業への従事状況												年間従事日数（日）	
				その世帯の事業に必要な農作業の期間													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
	性別			その者が常時従事する期間													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
加美 太郎	男	45	農業	本人	←											→	300
加美 花子	女	42	農業	妻			←								→		200
加美 丸子	女	70	農業	母			←								→		200

（該当する期間（実績又は見込み）を「←→」で示してください。「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業（耕うん、播種、施肥、刈取り等）にいつでも従事できる状態にあることをいいます。）

<農地法第3条第2項第5号関係>

5-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積の状況（一般）

(1) 権利取得後において耕作の事業に供する農地の面積の合計

（権利を有する農地の面積+権利を取得しようとする農地の面積）= 22,000（㎡）

(2) 権利取得後において耕作又は養畜の事業に供する採草放牧地の面積の合計

（権利を有する採草放牧地の面積+権利を取得しようとする採草放牧地の面積）= （㎡）

<農地法第3条第2項第7号関係>

7 周辺地域との関係（周辺農地等の農業上の利用に及ぼす影響について該当するものに○を付けてください。）

(1) 農地の集団化への支障	(有・無)	(2) 農作業の効率化への支障	(有・無)
(3) 面的農地利用の分断	(有・無)	(4) 水利調整への不参加	(有・無)
(5) 無農薬栽培等への支障	(有・無)	(6) 共同防除等への支障	(有・無)
(7) 実勢に比へ極端に高額な賃借料	(有・無)	(8) その他	[]

※該当が「有」の場合には許可することができません。

加農委指令第 号

上記申請のとおり許可する

平成 年 月 日

加美町農業委員会 会長 我孫子 武二